

# X線で紐解く油山

## ～油山山麓砂鉄の化学～

### ■講座内容

福岡大学が所在する油山山麓周辺には、大牟田古墳群や太平寺遺跡などの古代の製鉄関連遺跡が発見されています。講師は、油山山麓周辺における古代鉄生産の全容解明を目指して、製鉄原料の候補であるこの地域の砂鉄をX線分析で調査しています。X線分析は、肉眼ではわからない試料の特徴、例えば、試料を構成する成分やその構造といった化学的な情報を詳細に捉えることができるので、歴史資料の産地や原料の推定には欠かせません。

この講座では、油山山麓周辺の製鉄関連遺跡についてお話した後、化学成分の調査に用いたX線分析の原理や特徴を概説します。次に、実例として、油山山麓周辺での砂鉄試料の採集～化学成分のX線分析までの一連の研究成果をご紹介します。最後に、他の地域の砂鉄と比較することで、油山山麓の砂鉄の化学成分が持つ独自の特徴をまとめます。

### ■到達目標

本講座では、当時の鉄生産の全容解明を目的とした砂鉄の自然科学的な調査結果を紹介します。地域の方々にご自身の住む地域を身近に感じていただき、以下のことを学んでいただくことを目標とします。

1. 油山山麓周辺に所在する古代製鉄関連遺跡について
2. X線分析の概要
3. 油山山麓周辺で採集した砂鉄の化学成分とその特徴

開講日時	10/29(土) 10:00～11:30
対象・定員	一般・学生 100人
会場	福岡大学
受講料	無料
受付	先着順

### ■講師 福岡大学

市川 慎太郎 理学部助教

# EUとは何か

## —食料に関連するトピックを中心に—

### ■講座内容

EU (European Union) とは何か、何をしてきたのか、何ができるのかについて説明します。

EUはヨーロッパ27カ国のまとまりです。それらは独立した国である一方で、27カ国全体に共通する法律を作り、それに基づく統一的な政策を実施することもあります。このようなまとまりがどのように形成され、運営されているのかを、食料や農業に関連するトピックを用いながら説明します。

最近のヨーロッパの動向やそれが世界に与える影響を理解する上で、この講座がお役に立てば幸いです。

### ■到達目標

1. EUの知識（特に食料に関わるもの）を増やす。
2. EUの状況（特に食料に関わるもの）について思索を深める。

開講日時	11/12(土) 10:30~12:00
対象・定員	一般・学生 100人
会場	福岡大学
受講料	無料
受付	先着順

### ■講師 福岡大学

豊 嘉哲 商学部教授

# ドイツ及び日本の美術に見られる老いの表現

## ■講座内容

高齢化が急速に進んでいるドイツと日本。講師はこれまで、社会と美術の関係、ドイツと日本の比較研究を行ってきました。高齢化が社会、人々の生活に影響を与えているのはもちろんですが、美術についてはどうでしょうか。このような関心から、現在、高齢化社会と美術についての研究を進めています。

本講座では、ドイツと日本を比較しながら、美術に描かれた「老い」を考察します。年をとるのは人生において、きわめて自然なプロセスであり、西洋でも東洋でも古くから老いは美術のモチーフになってきました。では、戦後、高齢化が進むにつれて、高齢者・老いの描かれ方はどのように変わってきたのでしょうか。作品から何が読み取れるのでしょうか。

## ■到達目標

1. ドイツと日本の美術の中で老いを表現した作品を知る。
2. 美術の解釈や見方の多様性を知る。
3. 社会問題と美術のテーマを関連づけることができる。

開講日時	12/3(土) 11:00~12:30
対象・定員	一般・学生 100人
会場	福岡大学
受講料	無料
受付	先着順

## ■講師 福岡大学

M.ゴツィック 人文学部教授

# キッズ体操教室

## ■講座内容

器械運動におけるさまざまな技を習得し、発表することにより、子どもたちの基礎体力の向上を図るとともに、身体支配能力や自己表現能力を養います。

年齢や能力別のグループに分け、それぞれのレベルに合わせて指導します。技が出来たときの達成感や楽しさを体感します。

## ■到達目標

- ・低学年：器械運動及び体操競技で行われる器械器具を利用して、体力（柔軟性、筋力、敏捷性、持久力、調整力）を高めていく基礎的な動きを獲得する。
- ・中・高学年：学校体育における器械運動の授業に取り上げられている技を習得する。

開講期間	10/17(月)～12/19(月) 10回
曜日・時間	月曜日 17:00～18:30
対象・定員	小学生 30人 ※運動に支障がない健康状態の方
会場	福岡大学
受講料	17,500円
受付方法	先着順

## ■講師 福岡大学

- 田口 晴康 スポーツ科学部教授・福岡大学体操競技部部長
- 小畠 廉生 スポーツ科学部助教・福岡大学体操競技部コーチ
- 大坪 俊矢 スポーツ科学部助教・福岡大学新体操競技部（男子）監督
- 竹川 義之 元キッズ体操教室講師

※本講座では、指導者養成を目的として、本学学生（体操競技部部員）がアシスタントとして講師の指導補助にあたります。本学の教育機関としての役割にご理解とご協力をお願いいたします。

回	月	日	曜日	回	月	日	曜日	指導内容（全期間中を通しての目安です）
1	10	17	月	6	11	21	月	オリエンテーション 年齢および能力別クラスわけチェック
2	10	24	月	7	11	28	月	1. 体力（柔軟性、筋力、敏捷性、持久力、調整力）を高めていく基礎的な動きの獲得 2. 学校体育における器械運動の授業に取り上げられている技の習得 マット運動・跳び箱・鉄棒・平均台 3. 体操競技に関わる基礎技能および技の習得 トランポリン・ミニトランポリン・平行棒・つり輪・ボックス等の器具を利用して 4. 発表会（予定）
3	10	31	月	8	12	5	月	
4	11	7	月	9	12	12	月	
5	11	14	月	10	12	19	月	

# キッズ・サッカークラブ

## ■講座内容

勝利志向のクラブとは性格が異なり、年齢に応じた段階的一貫指導を行い、楽しみながら上達していく場を提供します。

レベルに応じて、3つのコースに分けて指導、トライ&エラーを繰り返して、スキルを向上させます。

### 【スキルアップコース】経験のある人向け(小3～小4)

もっと上手になりたいひと、より高度な技術習得を目指します。

### 【ビギナーズコース】経験は問わない(小2～小4)

初心者向けの楽しくて、やさしい個別指導を行います。

### 【ちびっこコース】経験は問わない(小1～小2)

サッカー型遊びを通して楽しさを体感します。

◆各クラスにインストラクターと学生アシスタントを配し、状況を「観て」「判断」し、子ども自身が考え行動する自発的な学習態度を身につける指導をします。

◆オリンピック日本代表選手をはじめ数多くのJリーガーを輩出した福岡大学サッカー部の監督・コーチ陣が直接指導します。

## ■到達目標

小学生児童低学年・中学年を対象として、楽しみながらサッカーの技術向上や仲間づくり、スポーツへの導入機会を創出し、サッカー型運動を通じて、体力向上やスキルアップ、仲間づくりを促進する。

## ■講師 福岡大学

乾 真寛	スポーツ科学部教授・福岡大学サッカー部監督・JFA公認S級コーチ・JFA公認キッズリーダーインストラクター・2005ユニバーシアード日本代表監督
布目 寛幸	スポーツ科学部教授・福岡大学サッカー部(女子) 副部長
藤井 雅人	スポーツ科学部教授・ドイツサッカー連盟C級コーチ・JFAキッズリーダー
高柳 昂平	スポーツ科学部助教・福岡大学サッカー部コーチ・JFA公認B級コーチ・JFA公認フィジカルフィットネスC級コーチ
村山 仁允	スポーツ科学部助手・福岡大学サッカー部(男子) コーチ・JFA公認A級ジェネラルコーチ・JFA公認A級U-12コーチ・JFA公認キッズリーダーインストラクター・JFA公認指導者養成C級/D級インストラクター
児玉 進二	福岡大学サッカー部ヘッドコーチ兼助監督・JFA公認B級コーチ・JFA公認キッズリーダー
奈良崎 寛	福岡大学サッカー部コーチ・JFA公認A級U-12コーチ・JFA公認キッズリーダー
泉原 嘉郎	スポーツ科学部非常勤講師・九州産業大学健康・スポーツ科学センター准教授・UEFA公認B級コーチ・ドイツサッカー協会公認B級コーチ
藤井 潤	アビスパ福岡ホームタウン推進部コーチ・JFA公認B級コーチ・JFA公認キッズリーダーインストラクター・JBFA公認コーチ
道下 亨	アビスパ福岡スクールダイレクター・JFAコーチ九州(サブ)・JFA公認A級ジェネラルコーチ・AFC公認B級コーチ・キッズリーダーインストラクター・JFA公認指導者養成C/D級インストラクター・JFA公認B級インストラクター
浅野 航兵	アビスパ福岡ホームタウン推進部コーチ・JFA公認B級コーチ・JFA公認キッズリーダーインストラクター・JFA公認指導者養成C級/D級インストラクター
杉 秋成	JFA公認B級コーチ・JFA公認キッズリーダー
岡田 昌司	上智福岡中学高等学校教諭・同サッカー部監督・JFA公認C級コーチ・JFA公認キッズリーダー

※本講座では、指導者養成を目的として、本学学生(JFA公認キッズリーダーの資格を持つサッカー部部員)がアシスタントとして講師の指導補助にあたります。本学の教育機関としての役割にご理解とご協力をお願いいたします。

※JFAは(公財)日本サッカー協会、UEFAは欧州サッカー連盟、AFCはアジアサッカー連盟、JBFAは特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会のいずれも略称です。

開講期間	9/17(土)～11/12(土) 7回 ※学事日程、サッカー一部の試合の都合で変更することがあります。予めご承知おきください。
開講時間	9月:16:00～17:30 10・11月:15:30～17:00 9/17は15:30開始
対象・定員	小学1年生～4年生 100人 ※申込み時に希望するコースを申し出てください。 (受講途中でのコース変更可) ※運動に支障がない健康状態の方
会場	福岡大学
受講料	10,000円
受付	先着順

回	月	日	曜日	指導内容(全期間中を通しての目安です)
1	9	17	土	オリエンテーション グループに分かれて実技指導 「ドリブル(フェイント)」
2	9	24	土	・1人で行えるボールを使った動きづくり ・ドリブル(フェイントテクニック、相手を抜く、かわす)
3	10	1	土	「ドリブル(グループでの突破)」
4	10	8	土	・2人で行えるボールを使った動きづくり ・ドリブル(グループでの突破、相手を観てプレーする)
5	10	22	土	「パス&コントロール」
6	10	29	土	・2人で行うボールを使った動きづくり ・パス&コントロール(いろいろなキックの種類を身につける)
7	11	12	土	「シュート」
				・グループでの動きづくり ・シュートを決めよう(インステップキック)(浮き球のシュート、ボレー・ヘディング)
予備日	10	15	土	「親子でサッカーを楽しもう」
	11	19	土	・親子で動きづくり ・サッカーのテクニックを親子で学ぼう
	11	26	土	※各項目でスモールサイドゲームを行います。
※10/15(土)の予備日は9/17(土)～10/8(土)の期間に開講できない場合に振り替えます。				

# Withコロナ時代を生きる

## ■講座内容

新型コロナウイルス感染症によって、2020年以来、私たちの生活様式・価値観は大きく変わりました。これからの感染症への向き合い方や新型コロナウイルスと共存しながら生活するためのポイントについて、日常生活の中で活かしていただけるよう、医療・公衆衛生・看護の立場から学べる講座になっています。

福岡大学病院が取り組んでいる新型コロナ感染症の対策や治療法の紹介、公衆衛生の立場からの新型コロナ感染症の理解、マスク・手洗い・3密回避を含めた日常生活における感染予防行動のポイントなどについて、わかりやすい講演と演習を行います。

第1講：新型コロナウイルスと向き合うためのポイント  
新型コロナウイルスと共存しながら生活するためのポイントについて

第2講：公衆衛生の立場からの新型コロナ感染症の理解  
新型コロナウイルスの感染傾向と対策について（公衆衛生の立場から）

第3講：日常生活に活かせる病院内感染予防  
感染予防行動のポイント（感染管理認定看護師の立場から）

第4講：日常生活における感染予防行動  
手洗い・マスク・3密回避を含めた日常生活における感染予防行動のポイント

## ■到達目標

1. 新型コロナ感染症の対策や治療法について最新の知識を得ることができる。
2. 公衆衛生の立場から新型コロナ感染症を理解することができる。
3. 日常生活における感染予防行動を身につけることができる。

開講日時	11/12(土)14:00～16:00
対象・定員	一般の方 100人
会場	福岡大学
受講料	1,500円
受付	先着順

## ■講師 福岡大学

- 第1講：大倉 義文 医学部看護学科教授  
 第2講：馬場 みちえ 医学部看護学科准教授  
 第3講：宮崎 里紗 福岡大学病院感染管理認定看護師  
 第4講：吉川 千鶴子 医学部看護学科准教授

※演習補助  
医学部看護学科教員・学生

# ヨーロッパの街と歴史をたどる

## ■講座内容

さまざまな都市とその歴史に触れることなしに、ヨーロッパを深く知ることはできません。誰もがその名を知っている都市や、知られざる宝石のような都市を訪れ、街の歴史、建築、美術、文学を味わってみませんか。それはまた、現代の諸問題の背景を考える機会ともなるはずです。ヨーロッパを研究対象とする、さまざまな専門領域の教員が、オムニバス形式で、国際的かつ学際的にヨーロッパの街と歴史を紹介します。

## ■到達目標

- 複数の学部や学科の教員が、それぞれ専門的知識をもとに行う、ヨーロッパのさまざまな街と歴史の紹介を通じて、多角的な視点からヨーロッパ文化を理解することができるようになる。
- ただ海外に旅行するというだけではない、内実を伴った旅を準備することができるようになる。

開講期間	10/1(土)～10/29(土) 4回
曜日・時間	土曜日 13:30～15:00
対象・定員	一般・学生 100人
会場	福岡大学
受講料	2,000円(4講)
受付	先着順

## ■講師 福岡大学

第1講：永田 善久 人文学部教授

第2講：岩崎 雅之 人文学部講師

第3講：西村 道也 経済学部講師

第4講：エレーヌ・ド・グロート 人文学部名誉教授

講	月	日	曜日	担当	講座内容
1	10	1	土	永田	<p><b>「ケルン」：皇帝クラウディウスの植民市そしてアグリッピナ(皇妃が生まれた土地)の者たちの祭壇</b></p> <p>古代ローマ時代から続く2000年以上の歴史がその名に刻印されている「ケルン」は、今なお賑わしい「カーニバル」、ドイツのゴシック建築を代表する「大聖堂」、原産地呼称制度で保護された上面発酵ビールの「ケルシュ」等々が残る、魅力いっぱい町です。他にも「半分鶏肉」といった料理名に反映されるウィットも含め、一緒にケルンを楽しみましょう！</p>
2	10	8	土	岩崎	<p><b>ロンドン—首都としての世界都市</b></p> <p>18世紀にダニエル・デフォー（『ロビンソン・クルーソー』の作者）は、「ロンドンとは人体で言えば心臓にあたり、イギリスという身体各部分へ血液を送り込み、またそれを集める働きをしている」という旨を述べました。現代においてはヨーロッパ、あるいはより広く世界的ネットワークにおいても同様の働きを果たしているかもしれません。では、その大都市圏はどのようにして形成されてきたのでしょうか。ここでは文化・文学の発展という観点に立ち、デフォーの時代から現代に至るまでの歴史的推移を辿ってみたいと思います。</p>
3	10	22	土	西村	<p><b>アルバニアと北マケドニアの世界遺産：プトリント、ベラト、ジロカストラ、オフリド</b></p> <p>アルバニア共和国と北マケドニア共和国は、バルカン半島にある2つの国です。アルバニアは人口の70%、北マケドニアは人口の30%をイスラーム教徒が占めているとされます。古代ローマの都市遺跡プトリント（アルバニアの都市サランダ近郊）、オスマン帝国期の街並みを残すベラトとジロカストラ（ともにアルバニア）、中世にキリスト教文化が開花したオフリド（北マケドニア）。支配勢力の変遷とともに、これらの街の歴史を現地の食文化を交えてたどりま。</p>
4	10	29	土	ド・グロート	<p><b>ブリュージュに次ぐベルギーのもう一つの真珠「ガン/гент(Gand/Gent)」</b></p> <p>講師自身が子どもの時を過ごした町、東フランドル地方のガンについて、思い出を交えながら、この街に残るさまざまな時代の名残、面影を紹介します。ケルト古代に歴史を遡るこの町の二つの言語、多様な建築、絵画、文学を巡りながら、フランス・ブルゴーニュからフランドル地方に至る、エスカルゴとカルボナード（ビーフ煮込み）の旅にも触れます。</p>

# ことばの雑学

## ■講座内容

言語学とは、「ことばとは何か、ことばはどのように働いているのか」という問いに答えようとする学問です。現在、世界には数千とも言われる言語があり、そのそれぞれに独自の音韻や文法の体系があります。語学が苦手でも言語学を通して学ぶと違った側面が見えてくるかもしれません。

これまでの講座に引き続き、「雑学」というかたちを取りながら、言語学の基本的な考え方を具体例を通して学びます。各講とも、言語学の幅広い分野のうちからトピックを取り上げ、言語学の面白さを体感します。自分の話す言語を客観的に見られるようにしたい方にお勧めです。

## ■到達目標

1. 言語を研究することに、関心をもつことができる。
2. 自分が話す言語を、客観的に見ることができる。

期間	10/29(土)～12/10(土) 3回
曜日・時間	土曜日 10:00～11:30
対象・定員	一般・学生 50人 ※言語学など知識はとくに必要ない。 外国語に言及することがあるので、英文法のごく一般的な知識があることが望ましい。
会場	福岡大学
受講料	1,500円
受付	先着順

## ■講師 福岡大学

- 第1講：川島 浩一郎 人文学部教授  
 第2講：古賀 健太郎 人文学部講師  
 第3講：中島 崇法 共通教育センター講師

講	月	日	曜日	担当	講座内容
1	10	29	土	川島	<b>言語学における実在論と唯名論をめぐって</b> 「単語」と「その単語が表しているもの」の間に本質的な関係があるかないかは、古典ギリシアの時代から議論されてきました。たとえば「犬という名詞」と「犬と呼ばれる動物」との間に、必然的な関係があるかどうかという問題です。この問題は、現代でも、実在論と唯名論の区別という形で受け継がれています。本講では、言語学にみられる実在論的な観点と唯名論的な観点を平易に解説します。
2	11	26	土	古賀	<b>フランス語の動詞＋名詞型複合語のいろいろ</b> フランス語で「小銭入れ」はporte-monnaieと言いますが、この語は動詞porter（抱える、持ち運ぶ）と名詞monnaie（小銭）という2つの語彙から成り立っています。本講座ではこのようなフランス語の「動詞＋名詞型複合語」の具体例を紹介しながら、2つの語彙の組み合わせにどのような決まりがあるのかを探っていきます。また、そのようにして出来た複合語がどんな事物を表しているのかについても、クイズ要素を交えながら明らかにしていきます。
3	12	10	土	中島	<b>生成文法理論への招待</b> ノーム・チョムスキー（Noam Chomsky, 1928～）が提唱した生成文法理論は、言語を人間の脳/精神に基礎づけられた生物学的対象として捉える視点に立ちながら、言語事実にたいする「説明」を追求することに重きをおく言語理論です。本講座では、生成文法理論がこれまで何を明らかにし、そして現在何を展望しているのかを、日本語や英語の具体例を交えつつ平易に解説します。



# 女性のための 元気体操教室

## ■講座内容

本講座では、「病気をしない・ケガをしない体づくり」を目指し、心身ともに元気になる体操を提供します。機能改善トレーニング・ストレッチ・柔軟体操・筋力トレーニング・リズム体操・リラクゼーションなどを組み合わせた内容です。特にシニア世代の女性が日常的に行えるように指導します。

「元気体操」を続けることで、正しい姿勢を維持できるようになり、女性が抱える腰痛・肩こり・肥満・冷え・むくみ等の慢性的な症状の改善が期待できます。また、大殿筋・ハムストリング等の下肢の筋力を鍛えることで、転倒防止や基礎代謝アップによるダイエット効果も期待できます。

開講期間	10/1(土)～2023年1/28(土) 13回
曜日・時間	土曜日 15:30～17:00
対象・定員	トレーニング可能な成人女性 30人 ※受講前に健康度チェック表にてご自身の健康状態を申告してください。
会場	福岡大学
受講料	16,500円
受付	先着順

## ■到達目標

- 正しい姿勢を身に付けて、美しく動ける体づくりをする。
- 体幹（肩甲骨～骨盤帯）の機能を高める。
- 四肢（股関節・肩関節）の動きを良くし、体幹との連動性を高める。
- リズム感を良くする。

## ■講師 福岡大学

柿本 真弓	スポーツ科学部教授・福岡大学新体操競技部部長
矢渡 理奈	健康運動指導士・福岡女学院大学非常勤講師・福岡女子短期大学非常勤講師
西村 久美子	(株)ライコで運動指導・健康運動指導士
田口 孝子	日本Gボール協会認定JSAスモールGボールインストラクター

回	月	日	曜日	回	月	日	曜日	指導内容（全期間中を通しての目安です）
1	10	1	土	8	12	3	土	オリエンテーション（1回目） （講座の趣旨、内容等の説明、健康状態チェック）  1.ストレッチ・柔軟体操 2.スモールGボールを使った筋力トレーニング 3.音楽を用いたリズム体操・有酸素運動 4.クーリングダウン （静かな音楽をBGMにしたリラクゼーション）  1～4の内容を約90分間緩やかなテンポで進めていきます。
2	10	8	土	9	12	10	土	
3	10	15	土	10	12	24	土	
4	10	22	土	11	1	7	土	
5	10	29	土	12	1	21	土	
6	11	19	土	13	1	28	土	
7	11	26	土					

# 電気ってなに？

## 電気の正体を人工雷実験で確かめてみよう！

### ■ 講座内容

私たちの生活に欠かせない電気は普段目に見えず触れることができません。どんな形でどんな性質を持っているのでしょうか。

この講座では、本学電気工学科にある西日本最大電圧の1500kVインパルス電圧発生装置によって人工的に雷を発生させ、電気を見える形（雷放電）にします。その観察を通じて電気に関する知識を学びます。また、感電などの電気に関する安全についての知識や雷に関する知識を、講義を通して学びます。

- 【講義】 電気の安全に関する話や雷に関する話
- 【観察】 1500kVインパルス電圧発生装置による人工雷の観察と実験に関する講義
- 交流電圧によるアクリル板上の沿面放電の観察と実験に関する講義

### ■ 到達目標

1. 人工雷と沿面放電の実験を見て、電気に関する知識を学ぶ。
2. 感電などの電気に関する安全についての知識を身につける。

開講日・時間	2023年2/23(祝日・木) 13:00～15:00
対象・定員	小学生～高校生(一般の参加も可) 50人 ※小学生は保護者同伴で参加してください。
会場	福岡大学
受講料	2,000円
受付	先着順

### ■ 講師 福岡大学

- 花井 正広 工学部教授
- 高村 紀充 工学部助教
- 荒岡 信隆 工学部助手